

鹿児島大学病院

研修医 池 俊浩 2015 年 7 月

はじめまして。鹿児島大学病院初期臨床研修医 2 年目の池 俊浩と申します。

今回、地域医療研修として 1 ヶ月間、出水総合医療センターおよび関連病院で研修をさせて頂きました。私は、大学から鹿児島の地にやってきたのですが、出水を訪れるのは今回が初めてでした。移動する車からみえるのどかな田園風景や、美味しい食事と良質な温泉に心と身体を癒されながら、研修に関する先生方、スタッフの皆様、地域の患者様に温かく支えられて、毎日楽しく充実した研修生活を送ることができました。

研修は、出水総合医療センターを中心に、野田診療所、高尾野診療所、上場診療所、出水保健センター、特別養護老人ホームなど様々な施設で行いました。

各診療所の研修では、外来診療や訪問診療を中心に勉強させて頂きました。今まで大学病院での研修では、紹介状があり診断がついている方や急性期医療が中心だったため、初診でこられた患者さんを自分で最初から診ること、慢性期医療に接するのは初めての経験でした。診療所の先生方が、自分の専門領域に関わらず、あらゆる症状の患者様の診療に当たっておられることに驚き、患者様の社会的背景を考慮することはもちろん、幅広く深い教養や技術を習得すべきことの多さも痛感しました。内村先生や西元寺先生のような、地域の患者様の最も近くで長年診療に当たってこられた先生方の経験談等も印象深く心に残っています。開業医の先生方も交えた勉強会にも参加させて頂き、地域医療を支える上で、縦・横の繋がりが、限られた医療資源の中でも高いレベルの医療を維持できていることに直結しているのだと実感しました。

院内では、消化器内科で研修をさせて頂きました。内視鏡検査や超音波検査を中心に学びました。中でも内視鏡検査を本格的に勉強させて頂き、不器用ながらも日々少しずつ出来ることが増えていくことの喜びを感じながら研修できました。嵯山先生、田ノ上先生、川平先生、中澤先生、指宿先生には、基礎から丁寧に御指導頂き、心より御礼申し上げます。また、医療安全管理室、地域医療連携室、臨床検査科、リハビリテーション科でも研修をさせて頂き、普段大変お世話になっている多職種の仕事内容を実際にみて話を伺うことができ、安心安全な医療の提供が多職種によって支えられており、情報共有の重要性を改めて認識することができました。

1 ヶ月という短期間でしたが、私にとってはとても濃密な時間でした。大学病院や中核病院は特殊なのであり、地域医療の現場こそが、『医療の最前線の現場』であると思います。限られた医療資源で治療を行うことや、患者様の QOL を支えることの難しさを実感するとともに、専門分野の知識だけでなく患者様を総合的に診る幅広い知識を求めると患者様の社会的背景まで把握することも医師にとって重要なスキルだと考えるようになりました。まだまだ未熟者ですが、将来は私も地域医療を担えるような医師になれればと思います。

最後になりましたが、1 ヶ月という短い期間にも関わらず、熱く丁寧に御指導して下さった先生方、温かく迎え入れて下さった病院スタッフの皆様、地域の患者様に、心より感謝の御礼を申し上げます。ありがとうございました。